

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	2027年1月26日まで（2017年4月24日設定）	
運用方針	<p>NYダウインデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の株式に投資を行い、ダウ・ジョーンズ工業株価平均（NYダウ）（配当込み、円ヘッジ・円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。</p> <p>マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。</p> <p>対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の実質投資比率が100%を超える場合があります。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。</p>	
主要運用対象	ベビーファンド	NYダウインデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	米国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）」およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

NYダウ・インデックスファンド （為替ヘッジあり）

第5期（決算日：2022年1月26日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「NYダウ・インデックスファンド（為替ヘッジあり）」は、去る1月26日に第5期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (NYダウ)		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率	配当込み、円ヘッジ・円換算ベース	期中騰落率			
(設定日)	円	円	%		%	%	%	百万円
2017年4月24日	10,000	—	—	10,000	—	—	—	10
1期(2018年1月26日)	12,798	0	28.0	12,848	28.5	98.1	2.4	994
2期(2019年1月28日)	11,870	0	△ 7.3	12,014	△ 6.5	97.4	2.0	2,088
3期(2020年1月27日)	13,767	0	16.0	14,037	16.8	96.8	2.4	2,327
4期(2021年1月26日)	14,706	0	6.8	15,074	7.4	98.3	2.1	2,948
5期(2022年1月26日)	16,420	0	11.7	16,914	12.2	96.9	2.3	3,249

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) ダウ・ジョーンズ工業株価平均とは、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCの商品で、輸送株と公益株以外の商品とサービスを提供する米国のすべての上場銘柄から、米国を代表する優良30銘柄を選出し、指数化したものです。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (NYダウ) (配当込み、円ヘッジ・円換算ベース) は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (NYダウ) (配当込み、米ドルベース) をもとに、委託会社が計算したものです。

「Dow Jones Industrial Average」(ダウ・ジョーンズ工業株価平均) はS&P Dow Jones Indices LLC (「SPDJ」) の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。Standard & Poor's[®]およびS & P[®]はStandard & Poor's Financial Services LLC (「S & P」) の登録商標で、DJIA[®]、The Dow[®]、Dow Jones[®]およびDow Jones Industrial AverageはDow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社にそれぞれ付与されています。三菱UFJ国際投信株式会社の当ファンドは、SPDJ、Dow Jones、S & Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、Dow Jones Industrial Averageの誤り、欠落、または中絶に対して一切の責任も負いません。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ダウ・ジョージズ 工業株価平均 (NYダウ) (配当込み、円ヘッジ ・円換算ベース)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	円	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2021年1月26日	14,706	% —	15,074	% —	% 98.3	% 2.1
1月末	14,535	△ 1.2	14,900	△ 1.2	98.7	2.4
2月末	14,936	1.6	15,316	1.6	99.2	2.4
3月末	15,766	7.2	16,178	7.3	100.4	3.3
4月末	16,226	10.3	16,661	10.5	94.7	3.7
5月末	16,476	12.0	16,920	12.2	98.6	2.3
6月末	16,363	11.3	16,813	11.5	98.5	2.2
7月末	16,736	13.8	17,202	14.1	97.5	1.7
8月末	16,907	15.0	17,379	15.3	96.9	3.6
9月末	16,425	11.7	16,888	12.0	99.8	2.5
10月末	17,071	16.1	17,563	16.5	99.8	1.6
11月末	16,797	14.2	17,292	14.7	96.2	4.3
12月末	17,456	18.7	17,976	19.3	99.5	1.5
(期 末) 2022年1月26日	16,420	11.7	16,914	12.2	96.9	2.3

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第5期：2021年1月27日～2022年1月26日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第5期首	14,706円
第5期末	16,420円
既払分配金	0円
騰落率	11.7%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ11.7%の上昇となりました。

ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（12.2%）を0.5%下回りました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行った結果、基準価額はベンチマークとほぼ同様の動きとなりました。

第5期：2021年1月27日～2022年1月26日

投資環境について

▶ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

世界的なインフレや金融引締への警戒等を受けて米国株式市況は下落する局面もありましたが、期を通して堅調な経済指標や企業決算等が支援材料となり米国株式市況は上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ NYダウ・インデックスファンド （為替ヘッジあり）

資産のほぼ全額をマザーファンドに投資し、為替ヘッジを行うことでベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行いました。

▶ NYダウインデックスマザーファンド

ダウ・ジョーンズ工業株価平均（NYダウ）（配当込み、円換算ベース）に採用されている株式（先物を含む）を主要投資対象とし、同インデックスに連動する投資成果をめざして運用を行いました。高い株式組入比率を維持し、ベンチマーク採用全銘柄に投資を行いました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

▶ NYダウ・インデックスファンド（為替ヘッジあり）

ベンチマークとの乖離は $\Delta 0.5\%$ 程度となりました。

マザーファンド保有以外の要因

ファンドの管理コスト・為替ヘッジ等による影響は $\Delta 0.9\%$ 程度でした。

マザーファンド保有による要因

マザーファンド保有による影響は 0.4% 程度でした。

ベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

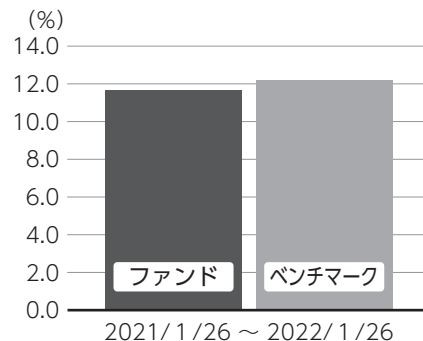
主なプラス要因：その他の要因*によるものです。

*その他の要因には、ファンドとベンチマークで適用

される配当税率の差異によるプラス要因などが含まれます。

主なマイナス要因：取引要因によるものです。

基準価額（ベビーファンド）とベンチマークの対比（騰落率）



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第5期
	2021年1月27日～2022年1月26日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	6,419

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ NYダウ・インデックスファンド （為替ヘッジあり）

マザーファンドの組入比率を高位に維持する方針です。

実質組入外貨建資産については、原則としてベンチマークとの連動を維持するため、為替ヘッジを行います。

▶ NYダウインデックスマザーファンド

ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

2021年1月27日～2022年1月26日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	108	0.660	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(52)	(0.319)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(49)	(0.297)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(7)	(0.044)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.002	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(0)	(0.001)	
(先物・オプション)	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.015	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.011)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	110	0.677	

期中の平均基準価額は、16,386円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

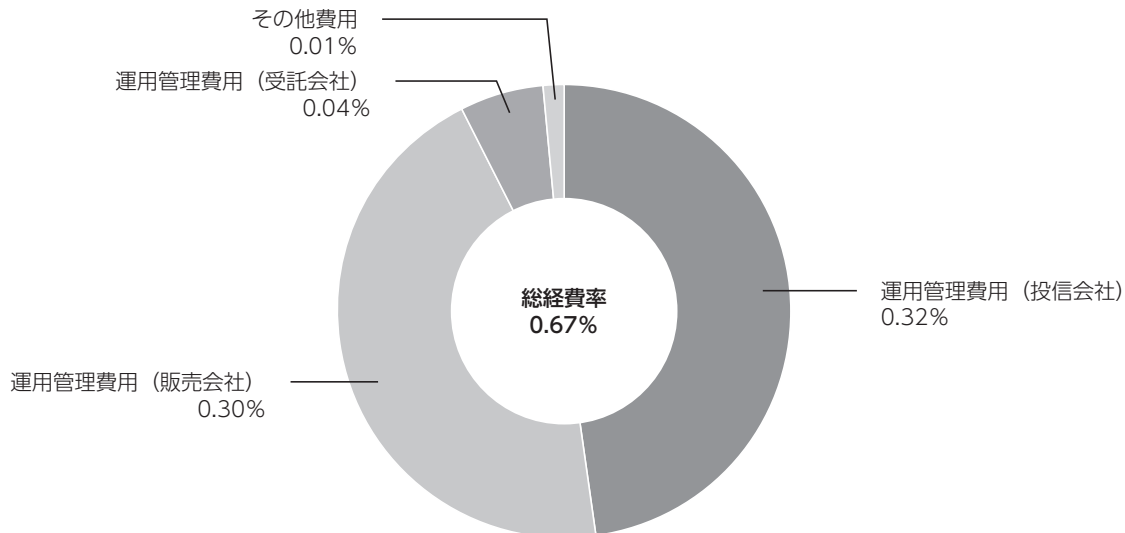
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.67%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年1月27日～2022年1月26日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
NYダウインデックスマザーファンド	千口 273,262	千円 806,601	千口 415,934	千円 1,193,924

○株式売買比率

(2021年1月27日～2022年1月26日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	NYダウインデックスマザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	10,734,915千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	41,024,712千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.26

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2021年1月27日～2022年1月26日)

利害関係人との取引状況

<NYダウ・インデックスファンド（為替ヘッジあり）>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 38,312	百万円 35,311	% 92.2	百万円 38,547	百万円 35,447	% 92.0

<NYダウインデックスマザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 11,673	百万円 11,673	% 100.0	百万円 4,367	百万円 4,367	% 100.0

平均保有割合 7.5%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2022年1月26日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
NYダウインデックスマザーファンド	千口 1,193,871	千口 1,051,199	千円 3,214,148

○投資信託財産の構成

(2022年1月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
NYダウインデックスマザーファンド	千円 3,214,148	% 98.5
コール・ローン等、その他	49,485	1.5
投資信託財産総額	3,263,633	100.0

(注) NYダウインデックスマザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産(48,417,230千円)の投資信託財産総額(48,486,247千円)に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=113.84円			
-----------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年1月26日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,685,985,518
コール・ローン等	14,850,275
NYダウインデックススマザーファンド(評価額)	3,214,148,957
未収入金	3,456,986,286
(B) 負債	3,436,877,199
未払金	3,422,352,217
未払解約金	3,634,909
未払信託報酬	10,834,155
未払利息	6
その他未払費用	55,912
(C) 純資産総額(A-B)	3,249,108,319
元本	1,978,771,946
次期繰越損益金	1,270,336,373
(D) 受益権総口数	1,978,771,946口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,420円

<注記事項>

①期首元本額	2,004,817,480円
期中追加設定元本額	613,365,703円
期中一部解約元本額	639,411,237円
また、1口当たり純資産額は、期末1.6420円です。	

②分配金の計算過程

項 目	2021年1月27日～ 2022年1月26日
費用控除後の配当等収益額	46,618,820円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	199,597,449円
収益調整金額	675,437,351円
分配準備積立金額	348,682,753円
当ファンドの分配対象収益額	1,270,336,373円
1万口当たり収益分配対象額	6,419円
1万口当たり分配金額	—円
収益分配金金額	—円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

○損益の状況（2021年1月27日～2022年1月26日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 1,243
受取利息	11
支払利息	△ 1,254
(B) 有価証券売買損益	267,077,769
売買益	768,565,725
売買損	△ 501,487,956
(C) 信託報酬等	△ 20,860,257
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	246,216,269
(E) 前期繰越損益金	348,682,753
(F) 追加信託差損益金	675,437,351
(配当等相当額)	(551,791,868)
(売買損益相当額)	(123,645,483)
(G) 計(D+E+F)	1,270,336,373
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	1,270,336,373
追加信託差損益金	675,437,351
(配当等相当額)	(553,115,348)
(売買損益相当額)	(122,322,003)
分配準備積立金	594,899,022

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

NYダウインデックスマザーファンド

《第9期》決算日2022年1月26日

〔計算期間：2021年1月27日～2022年1月26日〕

「NYダウインデックスマザーファンド」は、1月26日に第9期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第9期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	米国の株式を主要投資対象とし、ダウ・ジョーンズ工業株価平均（NYダウ）（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。株式の組入比率は原則として高位を保ちます。対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の実質投資比率が100%を超える場合があります。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	米国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (NYダウ)		株組入比率	株先物比率	純資産額
	円	騰落率	(配当込み、円換算ベース)	騰落率			
5期(2018年1月26日)	21,060	30.2%	19,912	29.7%	100.5%	2.5%	9,893
6期(2019年1月28日)	20,050	△4.8	18,888	△5.1	98.5%	2.0%	17,470
7期(2020年1月27日)	23,920	19.3	22,453	18.9	97.0%	2.4%	22,229
8期(2021年1月26日)	24,764	3.5	23,182	3.2	98.1%	2.1%	33,233
9期(2022年1月26日)	30,576	23.5	28,540	23.1	97.9%	2.3%	48,426

(注) ダウ・ジョーンズ工業株価平均とは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCの商品で、輸送株と公益株以外の商品とサービスを提供する米国のすべての上場銘柄から、米国を代表する優良30銘柄を選出し、指数化したものです。

ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (NYダウ) (配当込み、円換算ベース) は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (NYダウ) (配当込み、米ドルベース) をもとに、委託会社が計算したものです。

「Dow Jones Industrial Average」(ダウ・ジョーンズ工業株価平均) はS&P Dow Jones Indices LLC (「SPDJI」) の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。Standard & Poor's[®]およびS&P[®]はStandard & Poor's Financial Services LLC (「S&P」) の登録商標で、DJIA[®]、The Dow[®]、Dow Jones[®]およびDow Jones Industrial AverageはDow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社にそれぞれ付与されています。三菱UFJ国際投信株式会社の当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、Dow Jones Industrial Averageの誤り、欠落、または中絶に対して一切の責任も負いません。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ダウ・ジョージズ 工業株価平均 (NYダウ) (配当込み、 円換算ベース)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2021年1月26日	円 24,764	% —	23,182	% —	% 98.1	% 2.1
1月末	24,646	△ 0.5	23,072	△ 0.5	97.7	2.4
2月末	25,768	4.1	24,113	4.0	97.6	2.4
3月末	28,314	14.3	26,488	14.3	96.6	3.2
4月末	28,716	16.0	26,861	15.9	96.2	3.8
5月末	29,405	18.7	27,491	18.6	97.9	2.3
6月末	29,443	18.9	27,525	18.7	97.8	2.2
7月末	29,847	20.5	27,899	20.3	98.4	1.7
8月末	30,287	22.3	28,298	22.1	96.5	3.6
9月末	30,005	21.2	28,027	20.9	98.0	2.4
10月末	31,684	27.9	29,592	27.6	98.4	1.6
11月末	31,232	26.1	29,166	25.8	96.1	4.3
12月末	32,842	32.6	30,660	32.3	98.4	1.5
(期 末) 2022年1月26日	30,576	23.5	28,540	23.1	97.9	2.3

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

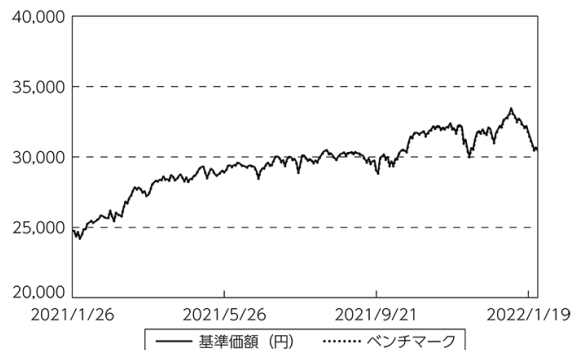
◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ23.5%の上昇となりました。

◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(23.1%)を0.4%上回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

● 基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

ベンチマークに連動する投資成果をめざして運用を行った結果、基準価額はベンチマークとほぼ同様の動きとなりました。

● 投資環境について

◎ 米国株式市況

- ・ 米国株式市況は上昇しました。
- ・ 世界的なインフレや金融引締への警戒等を受けて米国株式市況は下落する局面もありましたが、期を通して堅調な経済指標や企業決算等が支援材料となり米国株式市況は上昇しました。

◎ 為替市況

- ・ 米ドルは円に対して上昇しました。
- ・ 為替市況は、期首に比べて9.7%の円安・米ドル高となりました。

● 当該投資信託のポートフォリオについて

- ・ ダウ・ジョーンズ工業株価平均（NYダウ）（配当込み、円換算ベース）に採用されている株式（先物を含む）を主要投資対象とし、同インデックスに連動する投資成果をめざして運用を行いました。
- ・ 高い株式組入比率を維持し、ベンチマーク採用全銘柄に投資を行いました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異について

ベンチマークは23.1%の上昇になったため、カイ離は0.4%程度となりました。

ベンチマークとの差異の主な要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・ その他の要因[※]によるものです。

※その他の要因には、ファンドとベンチマークで適用される配当税率の差異によるプラス要因などが含まれます。

(主なマイナス要因)

- ・ 取引要因によるものです。

○ 今後の運用方針

- ・ ベンチマークの動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年1月27日～2022年1月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	円 1 (0) (0)	% 0.002 (0.001) (0.001)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	3 (3) (0)	0.011 (0.011) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	4	0.013	
期中の平均基準価額は、29,561円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年1月27日～2022年1月26日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 4,741 (221)	千アメリカドル 83,075 (-)	百株 963	千アメリカドル 13,041

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	株式先物取引	百万円 17,323	百万円 17,128	百万円 -	百万円 -

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月の月初から決算日までの分については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○株式売買比率

(2021年1月27日～2022年1月26日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	10,734,915千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	41,024,712千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.26

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2021年1月27日～2022年1月26日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	%	うち利害関係人 との取引状況D	D C	%
為替直物取引	百万円 11,673	百万円 11,673	% 100.0	百万円 4,367	百万円 4,367	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

〇組入資産の明細

(2022年1月26日現在)

外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
AMERICAN EXPRESS CO	667	800	13,860	1,577,867	各種金融	
BOEING CO/THE	667	800	16,341	1,860,336	資本財	
VERIZON COMMUNICATIONS INC	667	800	4,235	482,174	電気通信サービス	
JPMORGAN CHASE & CO	667	800	11,732	1,335,595	銀行	
CATERPILLAR INC	667	800	17,159	1,953,398	資本財	
COCA-COLA CO/THE	667	800	4,789	545,248	食品・飲料・タバコ	
CHEVRON CORP	667	800	10,616	1,208,534	エネルギー	
WALT DISNEY CO/THE	667	800	10,929	1,244,265	メディア・娯楽	
GOLDMAN SACHS GROUP INC	667	800	27,346	3,113,169	各種金融	
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	667	800	16,197	1,843,929	資本財	
HOME DEPOT INC	667	800	28,742	3,272,040	小売	
INTL BUSINESS MACHINES CORP	667	800	10,897	1,240,527	ソフトウェア・サービス	
JOHNSON & JOHNSON	667	800	13,421	1,527,918	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
MCDONALD'S CORP	667	800	20,071	2,284,904	消費者サービス	
MERCK & CO. INC.	667	800	6,362	724,264	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
3M CO	667	800	13,911	1,583,701	資本財	
PROCTER & GAMBLE CO/THE	667	800	12,773	1,454,179	家庭用品・パーソナル用品	
TRAVELERS COS INC/THE	667	800	13,499	1,536,759	保険	
UNITEDHEALTH GROUP INC	667	800	36,577	4,164,017	ヘルスケア機器・サービス	
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	667	800	4,082	464,765	食品・生活必需品小売り	
WALMART INC	667	800	10,981	1,250,098	食品・生活必需品小売り	
INTEL CORP	667	800	4,083	464,856	半導体・半導体製造装置	
CISCO SYSTEMS INC	667	800	4,492	511,432	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
NIKE INC -CL B	667	800	11,648	1,326,025	耐久消費財・アパレル	
AMGEN INC	667	800	18,018	2,051,200	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
MICROSOFT CORP	667	800	23,098	2,629,536	ソフトウェア・サービス	
SALESFORCE.COM INC	667	800	17,245	1,963,242	ソフトウェア・サービス	
APPLE INC	667	800	12,793	1,456,367	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
VISA INC-CLASS A SHARES	667	800	16,173	1,841,195	ソフトウェア・サービス	
DOW INC	667	800	4,578	521,185	素材	
合計	株数	金額	20,020	24,020	416,661	47,432,740
	銘柄数	比率	30	30	-	<97.9%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

先物取引の銘柄別期末残高

銘柄	別	期末	
		買建額	売建額
外国	株式先物取引	EMINIDOW2203	
		百万円	百万円
		1,109	-

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2022年1月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 47,432,740	% 97.8
コール・ローン等、その他	1,053,507	2.2
投資信託財産総額	48,486,247	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(48,417,230千円)の投資信託財産総額(48,486,247千円)に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=113.84円		
------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年1月26日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	48,626,019,848
コール・ローン等	833,841,724
株式(評価額)	47,432,740,830
未収入金	140,027,871
未収配当金	36,257,140
差入委託証拠金	183,152,283
(B) 負債	199,487,709
未払金	164,682,883
未払解約金	34,804,807
未払利息	19
(C) 純資産総額(A-B)	48,426,532,139
元本	15,838,196,236
次期繰越損益金	32,588,335,903
(D) 受益権総口数	15,838,196,236口
1万口当たり基準価額(C/D)	30,576円

<注記事項>

- ①期首元本額 13,420,293,457円
 期中追加設定元本額 4,581,087,485円
 期中一部解約元本額 2,163,184,706円
 また、1口当たり純資産額は、期末3,0576円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

eMAXIS NYダウインデックス	9,251,557,576円
NYダウ・インデックスファンド(為替ヘッジなし)	5,535,438,713円
NYダウ・インデックスファンド(為替ヘッジあり)	1,051,199,947円
合計	15,838,196,236円

○損益の状況 (2021年1月27日~2022年1月26日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	698,532,960
受取配当金	698,550,122
受取利息	205
支払利息	△ 17,367
(B) 有価証券売買損益	7,121,175,289
売買益	8,085,812,187
売買損	△ 964,636,898
(C) 先物取引等取引損益	126,249,797
取引益	244,821,612
取引損	△ 118,571,815
(D) 保管費用等	△ 4,739,802
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	7,941,218,244
(F) 前期繰越損益金	19,813,336,942
(G) 追加信託差損益金	8,941,133,893
(H) 解約差損益金	△ 4,107,353,176
(I) 計(E+F+G+H)	32,588,335,903
次期繰越損益金(I)	32,588,335,903

(注) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。